

高等学校 令和7年度 教科

家庭

科目 家庭科演習

教科：家庭

科目：家庭科演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A～G 組： 石倉栄子 ）

使用教科書：（ 資料集：生活デザインガイド2025 大修館書店 ）

教科 家庭

の目標：

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭科演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	子どもの保育 【知識及び技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのライフステージにおける発達課題を理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 今から自分の人生で成し遂げることを考えようとしている。	保育の意義 ・保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解する。 ・保育者のあるべき姿とはどのようなものか考える。	【知識・技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	○	○	○	18
		中間テストはなし					0
	定期考査	期末テストはなし					
2 学期	保育の環境 【知識及び技能】 ・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容について理解している。 ・保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 【学習に向かう力、人間性等】 ・身近な保育・教育施設について関心を持ち、ホームページからその特色を調べるなど自ら情報を収集しようとしている。	保育の環境 ・家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を理解する。 ・現代の子どもや子育て家庭を取り巻く環境の問題、多様な保育のニーズに関する課題を知り、子どもの健やかな発達のための適切な保育環境について考える。	【知識・技能】 ・日本の子育て家庭の現状と支援内容、保育施設の保育・教育の特徴、養育と集団保育の役割を理解できているか。 【思考・判断・表現】 ・教科書の写真・動画を見て、家庭での養育と集団保育を比較し共通点や相違点を話し合う。現在の子育て環境の課題や集団保育のニーズなど、ニュースからテーマを探して話し合う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な保育・教育施設のホームページから、施設や保育の特色を調べ、まとめる。				20